

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和5年9月29日

計画の名称	22 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤及び安全で快適な生活環境を形成するまちづくり(防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	宮古市
計画の目標			

- ・宮古広域生活圏や三陸地方拠点都市地域の中心都市としての機能を高め、生活圏の緊密化と交流圏の拡大を促進する。
- ・災害、事故等へ迅速に対応するための機能を高め、安全な市民生活の確保と安心して快適に暮らせる環境づくりを推進する。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・集落等から病院等の公共、公益施設へ向かう幹線道路までの時間短縮率
- ・道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
① 整備による時間短縮効果であり、整備前及び整備後の現地走行調査により、以下の式で算出する。 100-(Σ整備後走行時間/Σ現況走行時間)×100(%)	0.0%	17.5%	32.1%	
② 要対策箇所と対策済箇所により、以下の式で算出する。 対策済箇所数/要対策箇所数×100(%)	0.0%	55.5%	100.0%	

上段:計画 / 下段:実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	989百万円 1,002百万円	A	962百万円 976百万円	B	- -	C	27百万円 27百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.7% 2.7%
-------	------------	--------------------	---	------------------	---	--------	---	----------------	---------------------------	--------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮古市都市整備部建設課において事後評価を実施	令和4年9月
	公表の方法
	宮古市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段:計画 下段:実施						
A1 道路事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名			事業実施期間 (年度)				
											H22	H23	H24	H25	H26		
22-A1-2	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	改築	(1) 磯鶏金浜線 八木沢外	現道拡幅 L= 1.3km	宮古市	■	■	■	■	■	265	
									■		■	■	■	■	307		
22-A1-7	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	改築	(他) 松山線 松山工区	現道拡幅 L= 0.7km	宮古市	■	■	■	■	■	181	
									■		■	■	■	■	158		
22-A1-20	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(1) 八木沢団地7号線外 八木沢外	側溝補修 L=2.0km	宮古市	■	■	■	■	■	68	
									■		■	■	■	■	72		
22-A1-21	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他) 末広町線外 末広町外	舗装補修 L= 2.0km	宮古市	■	■	■	■	■	116	
									■		■	■	■	■	123		
22-A1-22	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他) 藤原向町線 宮古橋外	橋梁補修等 L= 0.3km	宮古市	■	■	■	■	■	130	
									■		■	■	■	■	130		
22-A1-24	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(1) 鈴久名横沢線 鈴久名工区	橋梁補修 L= 0.1km	宮古市	■	■	■	■	■	39	
									■		■	■	■	■	43		
22-A1-25	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(1) 川内明戸線外 明戸外	側溝補修 L= 0.8km	宮古市	■	■	■	■	■	26	
									■		■	■	■	■	26		

22-A1-27	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他) 横沢線外 横沢工区外	舗装補修 L= 1.0km	宮古市							38
																	41
22-A1-36	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他) 磯鶏7号線	法面・擁壁等補修 L= 0.05km	宮古市							5
																	2
22-A1-37	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(2) 中倉堀野線	法面・擁壁等補修 L= 0.03km	宮古市							94
																	74
合計																962	
合計																976	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
22-C1-1	計画・調査	一般	宮古市	直接	宮古市	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	15m以上の橋梁67橋	宮古市							4
																4
22-C1-3	施設整備	一般	宮古市	直接	宮古市	排水路整備	浸水対策事業	排水路整備 L=44.9km	宮古市							10
																10
22-C1-4	調査	一般	宮古市	直接	宮古市	調査	路面性状調査	路面性状調査	宮古市							3
																3
22-C1-5	調査	一般	宮古市	直接	宮古市	調査	道路ストック総点検(トンネル)	トンネル点検	宮古市							3
																10
22-C1-6	調査	一般	宮古市	直接	宮古市	調査	道路ストック総点検(法面等)	法面等点検	宮古市							7
																0
22-C1-7	調査	一般	宮古市	直接	宮古市	調査	道路ストック総点検(道路付属物)	道路付属物点検	宮古市							0
																0
合計																27
合計																27

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
22-C-1	橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、経済活動の基盤となる道路の橋梁補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。														
22-C-3	周辺宅地の浸水を解消し、市民の安全・安心を確保する。														
22-C-4	早急に補修の必要な箇所を特定し、経済活動の基盤となる道路の舗装補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。														
22-C-5	早急に補修の必要な箇所を特定し、効果的・効率的なトンネル補修をするために必要な点検・調査を行うことにより、快適で安全・安心な通行を確保する。														
22-C-6	早急に補修の必要な箇所を特定し、効果的・効率的な法面等の補修をするために必要な点検・調査を行うことにより、快適で安全・安心な通行を確保する。														
22-C-7	早急に補修の必要な箇所を特定し、効果的・効率的な道路付属物の保全整備をするために必要な点検・調査を行うことにより、快適で安全・安心な通行を確保する。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事により運転時間の短縮につながり、アクセス向上の観点で効果を発揮した。 ・道路拡幅により相互交通が可能となった路線や、急カーブ箇所等に対する線形改良を実施した路線については、運転時間の短縮に加えて交通の安全性が向上した。 ・橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、計画的かつ効率的なインフラメンテナンスの実施につながった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(整備による時間短縮効果)	最終目標値	32.1%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	32.1%		
	指標②(要対策箇所に対する対策済箇所の割合)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					

(参考図面) 活力創出基盤整備

